LBカバー



特長・ポイント

従来のEPS軽量盛土工法では、H型鋼の支柱間に壁面材を並べ保護層を設けていました。「LBカバー」は、従来の工法に比べて工事費や工期を削減するとともに、作業の安全性を確保したプレキャスト超軽量盛土用自立壁面材です。

優れた施工性

壁面は、最大で6㎡/枚と広く、さらには製品単体でも自立するため、従来工法に比べ施工スピードが大幅に向上します。また、軽量盛土上部に設ける防護柵基礎を『Gベース』と組み合わせて頂くことでさらに施工性の向上が図れます。

確かな安全性

施工時には、谷側に足場工の設置も不要でEPSの設置に合わせた壁面部材の設置が可能なため安全に安心して作業していただけます。さらには、ブロックは自立し、製品相互は、専用プレートにて接合を行うため、特殊な作業を必要としません。

高い経済性

従来のH鋼建て込み式に比べて、足場工等の仮設工も不要となり、20%の工事費削減が実現できます。

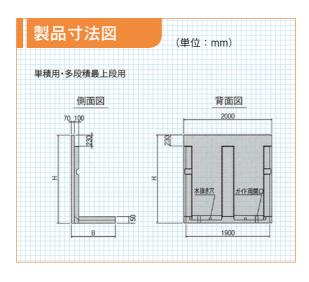
景観に配慮した壁面

壁面材表面には、周辺景観との調和を図る為、壁面模様つきを標準とさせて頂いております。場合によりカラーコンクリート等での対応も可能です。

施工図



地中線



製品寸法表

区分	規格	寸法(mm)		毎早/kg)	
<u></u>	祝怕	Н	В	質量(kg)	
	H-1000	980		695	
単積用	H-1500	1480		940	
下段用	H-2000	1980	750	1,185	
1,471	H-2500	2480		1,440	
	H-3000	2980		1,685	
	H-1000	980	1000	800	
上段用	H-1500	1480	1250	1,145	
中段用	H-2000	1980	1250	1,395	
〒+ⅩⅢ	H-2500	2480	1500	1,760	
	H-3000	2980	1750	2,115	

他工法比較

工法	LBカバー工法		H型鋼支柱+壁面材		
施工断面図	上部床版コンクリート 生態体版コンクリート 銀番材 ・ 中間板版コンクリート		<u>壁面材</u> 500x100x2000 <u>ト</u> 盤線 350x350x5720 <u>基礎コンクリート</u>	プ クリッド)	
構造性	・プレキャスト製自立壁	0	・亜鉛メッキH型鋼+プレキャスト版	0	
耐久性	鉄筋コンクリート製であるため良い。	0	・押出成型セメント版のため、凍結融解対策が必要。	×	
安定性	・中間床版と一体化する。 ・中間床版上の水は速やかに外部へ排出。	0	・中間床版とH型鋼の連結は特殊な加工。 (中間床版施工時にアンカー等が必要) ・中間床版上の水は壁面材内面を流れ落ちる。	Δ	
維持管理面	・コンクリート製のため補修が容易。		押出成型セメント版の場合は不可能。		
経済性(工事費)	80%		100%		
施工性 (壁面材施工歩掛り)	60㎡/日 ・製品は標準で6㎡/枚で自立する。		40㎡/日 ・製品は、1㎡/枚で、吊りながらの固定が必要。		
安全性	・製品は自立する。 ・基礎コンクリート上に製品を設置するのみ。	0	・壁面材は吊りながらの金具固定が必要。 ・基礎上に壁高のH型鋼の建て込みが必要。 ・壁面材設置時は高所作業車または足場工が必要。		
総合評価	©		Δ		

施工歩掛

施工延長10m当り

	名称	単位	H1000	~H2000	~H3000	
本体据付工	土木一般世話役		0.22	0.26	0.33	
	ブロックエ	人	0.22	0.20	0.33	
	普通作業員	人	0.66	0.78	0.99	
		規格	バックホウ2.9t吊り	ラフテレーンクレーン25t吊り	ラフテレーンクレーン25t吊り	
	フレ フ貝付 	日	0.22	0.26	0.33	
	雑工種率 基礎砕石	%	45	53	60	
	雑工種率 基礎コン	%	74	87	98	
	諸雑費	%	16	18	20	
材	プレキャストブロック	個	5	5	5	
料費	諸雑費	式	1	1	1	